

令和8年度社会福祉研修事業計画書

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
項 目	社会福祉行政新入研修	生活保護法担当新担任地区担当員研修	生活保護法担当地区担当員研修	生活保護法指導監督職員研修	知的障害者(児)福祉行政担当職員研修	精神保健福祉行政担当職員研修	身体障害者(児)福祉行政担当職員研修	高齢者福祉行政担当職員研修	社会福祉法人会計監査担当職員研修	家庭(児童)相談員研修	母子・父子自立支援員・女性相談支援員研修	児童福祉司・児童相談員研修	児童心理司(心理判定員)研修
目 的	社会福祉行政を担当する新任職員として、基本となる社会福祉の理念・社会福祉行政施策について学び、業務遂行に必要な知識・技能を身に付け、円滑な福祉行政の推進に寄与することを目的とする。	生活保護行政に関する基礎的・専門的知識を身に付け、業務に必要な調査・判断・措置能力の向上を図ることを目的とする。	生活保護業務に従事する地区担当員として、日ごろの業務に関する専門的な知識、技術を身に付け、円滑な福祉行政の推進に寄与することを目的とする。	生活保護法の指導監督職として、生活保護法に必要知識を身に付け、もって現業員の資質の向上を目的とする。	知的障害者(児)福祉行政担当職員として知的障害者(児)をめぐる状況についての理解を深め、複雑化している業務に必要な知識を身に付け提供するサービスの質の向上に資することを目的とする。	精神保健福祉行政担当職員として精神障害者をめぐる状況についての理解を深め、複雑化している業務に必要な知識を身に付け、提供するサービスの質の向上に資することを目的とする。	身体障害者(児)福祉行政担当職員として身体障害者(児)をめぐる状況についての理解を深め、複雑化している業務に必要な知識を身に付け提供するサービスの質の向上に資することを目的とする。	高齢者福祉行政担当職員として高齢者をめぐる状況についての知識を深め、複雑化している業務に対応するために必要な知識を身に付けることを目的とする。	社会福祉法人の指導監査を行う職員に必要な法人会計の知識・技能を習得し、円滑な指導監査に資することを目的とする。	複雑多様化する相談業務に関する基礎的・専門的知識を身に付け業務に必要な能力の向上を図ることを目的とする。	母子・父子自立支援員及び女性相談支援員として複雑多様化している相談業務に対応するために必要な知識を身に付け、円滑な相談業務の資質向上を図ることを目的とする。	現在の家庭を取り巻く複雑な社会環境の中で、児童のあらゆる問題に関する適切な相談、援助業務に必要知識、技術の習得を図り、児童の健全育成に寄与することを目的とする。	複雑、多様化している児童の問題に、迅速かつ適切に対応するために必要な知識及び技術の習得を図り、児童心理司(心理判定員)としての専門性をさらに高めることを目的とする。
研修内容	社会福祉制度の基礎知識・高齢者福祉・児童福祉・障害福祉の基礎知識・介護保険制度の概要・児童相談員(障害者福祉推進課、高齢者福祉課、子育て支援課及び児童家庭課の職員)による千葉県施策の説明	生活保護制度の基本と仕組み・ケースワーカーの資質	貧困問題と生活保護の現状・対人援助のあり方、事例検討・生活困窮者自立支援法の概要	生活保護法の動向・査察指導員の役割	下記を主とした体系的な知識に係る内容 ・障害者福祉制度の動向 ・市町村行政の求められる役割 ・障害福祉サービスの種類及び内容	下記を主とした体系的な知識に係る内容 ・障害者福祉制度の動向 ・市町村行政の求められる役割 ・障害福祉サービスの種類及び内容	下記を主とした体系的な知識に係る内容 ・障害者福祉制度の動向 ・市町村行政の求められる役割 ・障害福祉サービスの種類及び内容	高齢者の基本的人権・高齢者虐待防止法、個人情報保護法	下記に係る実践的な内容 ・社会福祉法人会計のあり方 ・会計基準の仕組みと要点	相談業務に必要な知識・専門的技術の習得	下記に係る実践的な内容 ・円滑な相談技術の習得 ・ひとり親家庭に対する支援制度・支援策等に関する基礎知識	児童福祉制度の動向 児童福祉司及び児童相談員に求められる技術の習得	児童福祉制度の動向 児童心理司(心理判定員)に求められる専門性
講師の選定基準	学識経験者並びに県担当各課福祉関係機関・団体等の関係者 千葉県関係課職員	学識者または、県担当各課及び、現場ケースワーカー等	学識者または、査察指導経験者、県担当課等	学識者または、査察指導経験者等	学識者または、福祉施設関係者あるいは関係機関・団体等の関係者	学識者または、福祉施設関係者あるいは関係機関・団体等の関係者	学識者または、福祉施設関係者あるいは関係機関・団体等の関係者	学識経験者または、民間事業者、福祉関係機関等の関係者	会計事務所 公認会計士	学識者または、福祉施設関係者あるいは関係機関・団体等の関係者	学識者または、福祉施設関係者あるいは関係機関・団体等の関係者	学識者または、福祉施設関係者あるいは関係機関・団体等の関係者	学識者または、福祉施設関係者あるいは関係機関・団体等の関係者
開催予定日	令和8年5月～6月	令和8年5～6月	令和8年7月	令和8年8月	令和8年10月	令和8年11月	令和8年12月	令和8年7月	令和8年5～6月 (6月までに必ず実施)	令和8年7月	令和8年9月	令和8年8月以降	令和8年6月～7月 (10月以外)
開催日数	福祉総論1日 障害分野1日 高齢分野1日 児童分野1日	2日×2回	2日	1日	1日	1日	1日	2日	1日×2回	1日	1日	1日×2回	1日×2回
受講対象者	県及び市町村において新規採用又は配置替えにより新たに福祉行政を担当することとなった職員	県及び市町村において生活保護行政事務を新たに担当することとなった職員	県及び市町村において生活保護行政の地区担当として業務処理にあたる職員	県及び市において生活保護法担当の査察指導員の職にある職員	県及び市町村において知的障害者福祉行政の業務を担当する職員等	県及び市町村において精神保健福祉行政の業務を担当する職員等	県及び市町村において身体障害者福祉行政の業務を担当する職員等	県及び市町村において高齢者福祉行政の業務を担当する職員	県及び市において社会福祉法人及び各種社会福祉施設に対し会計監査と指導を行なう職員	県及び市町村において家庭(児童)相談員の職にある職員	県及び市において母子・父子自立支援員、女性相談支援員の職にある職員	県において児童福祉司・児童相談員の職にある職員及び虐待対応協力員等児童福祉司の職務を補佐する職にある職員 市町村において児童福祉部門に所属する職員	県及び市の社会福祉関係機関に勤務する児童心理司(心理判定員)等の心理職にある職員
受講人数(定員)	100名	100名(50名×2回)	50名	40名	40名	40名	40名	50名	100名(50名×2回)	55名	50名	100名(50名×2回)	80名(40名×2回)
希望テーマ等	・社会福祉概論 ・障害者総合支援法の概要・認知症及び家族・当事者の思い ・介護保険制度の概要 ・県における各福祉分野の現状及び県が策定する計画の概要	・福祉諸制度と生活保護との関わり ・各種福祉事業と生活保護との関わり ・生活保護の関係機関について ・生活保護制度の最前及び保護家庭への向き合い方(面接技術含む) ・困難事例検討 ・高齢者世帯の生活保護支援 ・母子世帯、傷病世帯、障害者世帯等への対応について	・困難事例の検討及び対応 ・面接技術 ・就労支援のあり方 ・生活困窮者自立支援法の分野	・査察指導員の役割及び機能 ・査察指導台帳等を活用した業務の進捗管理 ・査察指導員として必要とされる相談援助等の知識及び技術	・窓口等相談支援技術の獲得・スキルアップ ・事例検討(演習含む) ・支給決定事務(サービス等利用計画の見方を含む)	・窓口等相談支援技術の獲得・スキルアップ ・事例検討(演習含む) ・支給決定事務(サービス等利用計画の見方を含む)	・窓口等相談支援技術の獲得・スキルアップ ・事例検討(演習含む) ・支給決定事務(サービス等利用計画の見方を含む)	・高齢者虐待防止法関係(事例検討・聞き取調査の手法など) ・成年後見制度 ・1人暮らしの高齢者への支援の在り方 ・社会的孤立、孤立死(先行調査から傾向や課題、取組事例など) ・サ高住を含む有料老人ホームについて(制度と協会の役割、トラブル防止) ・虐待対応における市町村と県の連携について	・会計監査の手順とポイント(資料を見る時の着眼点、資料の確認方法の事例、どのような場合にどのような指摘をなすか等) ・新会計基準の調査手順	・不登校児と親への対応 ・問題行動の対応 ・ひとり親家庭の支援 ・児童虐待に関する対応 ・特定妊婦に関する対応・支援	・アサーティブトレーニング ・傾聴スキル向上 ・ひとり親家庭の問題 ・ひとり親家庭の就業支援 ・DV被害者への対応 ・ひとり親家庭の実態及び支援策 ・共同親権の概要	・児童福祉法、児童虐待防止法等から期待される児童相談所職員の役割 ・経験の少ない職員への基礎的な知識やスキルの教育 ・児童相談所業務に係る法改正及び法的知識について ・国の施策動向や他国の先駆的取り組みの紹介 ・対応困難な保護者等への対応(様々な関係機関との連携の必要性) ・被害児童のプライバシー保護の重要性 ・記録の重要性 ・虐待対応現場における家族支援について ・非行について ・福祉援助のメンタルヘルスについて ・児童相談所と市町村との連携に係るグループワーク	・非行と虐待、臨床アセスメントと治療、家族療法、家族の分離 ・施設内児童問題への対応 ・心理療法の実践 ・被害児童のケア ・性的問題への対応 ・プレイセラピー